毎日新聞
２００７年（平成１９年）７月８日付

足立区テスト

障害児の点数除外

トップの小学校 3人、了解なく

東京都足立区教育委員会は7日、昨年4月に区が独自に実施した学力調査（テスト）で、トップの成績の小学校が、保護者の了解を得ずに情緒障害などのある児童3人の答案を採点対象から除外していた、と発表した。

区教委は「保護者に説明せずに不適切だった。申し訳ない」とコメントした。

区教委によると、学力調査は、小学2年～中学3年生を対象に04年度から区が独自に実施し、各学校ごとの順位を公表している。この学校は、05年度は44位だったが、06年度はトップになった。

3人はいずれも6年生（当時）で、情緒障害などが見られる。普通学級に在籍しているが、週に何回かは別の学校の特別なクラスに通っていたとして、校長の判断で採点対象から除外した。区教委は事前相談や保護者の了解があれば、問題の理解が難しい児童の採点除外を認めているが、この学校はその手続きをしなかった。校長は「怠った」と説明しているという。3人の児童の親のうち2人は校長の説明に納得していない。

同区では、学校選択制を02年度から実施しており、成績の上位校に入学希望者が集まる傾向にある。この学校は、誤答している児童の机を教師がたたくなどの疑惑も指摘されている。【吉永磨美】

朝日新聞

2007年(平成19年)7月8日　日曜日

1　14版

テスト集計 障害児除外

足立区 区立小「学力実態知るため」

東京都足立区教育委員会が昨年4月にすべての区立小、中学校で実施した区独自の学力テストで、小学校1校が、障害のある3人の児童の答案用紙を保護者の了解を得ないまま集計から除いていたことが7日、わかった。区教委は「学校の学力の実態を知るために は、外した方がいいと判断したようだ」としている。 ||37面に関係記事

同校には同じテストで、前年の問題を繰り返し練習させたり、テスト中に教員が誤答している児童の机をたたいて気付かせたりするなど公正性を失わせかねない疑惑もあり、区教委は調査をさらに進める。集計から一部の児童生徒を外した例や過去の問題を練習させた実態の有無は、全小中学校を対象に調べる。

足立区教委の学力テストは05年度から区立の全小中学校で小2から中3の全児童生徒を対象に行われている。

このうち昨年4月25日に行われた06年度分で、小学校1校が6年生3人の答案用紙を集計から外した。3人はテストは受けていた。同年7月には採点結果の分析が各児童生徒に配られるが、3人には戻されなかった。

3人には情緒的な障害や多動性の障害があり、週の数時間は特別な支援態勢のある学級をもつ別の小学校へ通っていた。

校長は区教委の調査に対し、「小5までの内容が身についていない部分があるので外した。保護者への説明は怠ってしまったと説明したという。

区教委は、障害があったり外国人で日本語が不自由だったりする児童生徒の答案は校長判断で集計から除くことを認めており、「今回の校長の判断は適切だったと思う。ただし、保護者に説明して了解を得るべきだった」としている。

足立区の学力テストでは、今回の小学校は05年度は全72校中44位だったが06年度は1位になった。06年度の問題は05年度分と9割程度が同じ内容だった。同区は学校選択制を採り入れており成績上位校には入学希望者が殺到する傾向がある。

がんと生きるコツ⑧
「畑仕事で作物から気をもらう」
神奈川県　44歳女性

胃がんの手術をした義父。退院しても自営の農業を頑張っています。知人に「畑仕事で野菜から気をもらっているから元気なのね」と言われました。

朝日新聞

2007年(平成19年)7月17日　火曜日　14版　社会　30

校長ら誤答児童に合図

足立・学力テスト 計5校で事前練習

東京都足立区が昨春実施した独自の学力テストで、小学校1校が障害児3人を採点からはずしていた問題で、区教委は16日、区内の小中学校109校を調べた結果を発表した。この小学校では校長と教員5人がテスト中に誤答の児童に合図していたほか、前年の問題のコピーを取って事前に練習していたことが新たに確認された。コピーを取っての事前練習は他に4小中学校が行っていた。

調査によると、テスト中の児童への合図は、採点はずしが最初にわかった小学校1校だけだった。この小学校では校長のほか5人の教員が、考え込んでいたり誤答していたりした児童に対し、問題文をなぞったり指さしたりした。

校長と副校長は「全校で指示した記憶はない」としているが、管理職の主幹は「学年会で言ったかも知れない」と話しており、「校長らから指示があった」と言う教員もいるという。

前年のテスト問題のコピーは区教委が禁じていたが、この小学校では校長の判断でコピーした。事前の練習は繰り返し行われ、昨春のテスト直前にも、参加した2～6年の全クラスで各担任が1～3回、授業中や放課後に練習させていた。

昨春の問題はその前年の問題とほぼ同じだったため、この小学校の成績は前年からはね上がってトップになった。

コピー問題を使っての事前練習は、この小学校以外にも小学校3、中学校1の4校が行っていた。回数は3校が1回、1校が2～5回で、いずれも昨春のテスト直前だった。

障害などがある児童・生徒を対象からはずしていたのは、最初に発覚した小学校（児童3人）を含めて小学校が14校で19人、中学校は4校で5人だった。最初にわかった小学校では保護者に無断だったが、保護者の了解を得ていなかったのは他に小学校1校の1人だけで、連絡が取れない状態だったという。

足立区は学校選択制を導入しており、学力テストの成績はホームページなどで公表している。斎藤幸枝教育長は会見で「（学校現場に成績向上への）プレッシャーがなかったとは言えない」と話し、第三者を入れた検討委員会を立ち上げてテスト結果の公表方法などを検討すると説明した。